

令和 2 年 1 月 22 日

大型公共施設建設調査特別委員会

市民部スポーツ振興課
都市整備部公園課

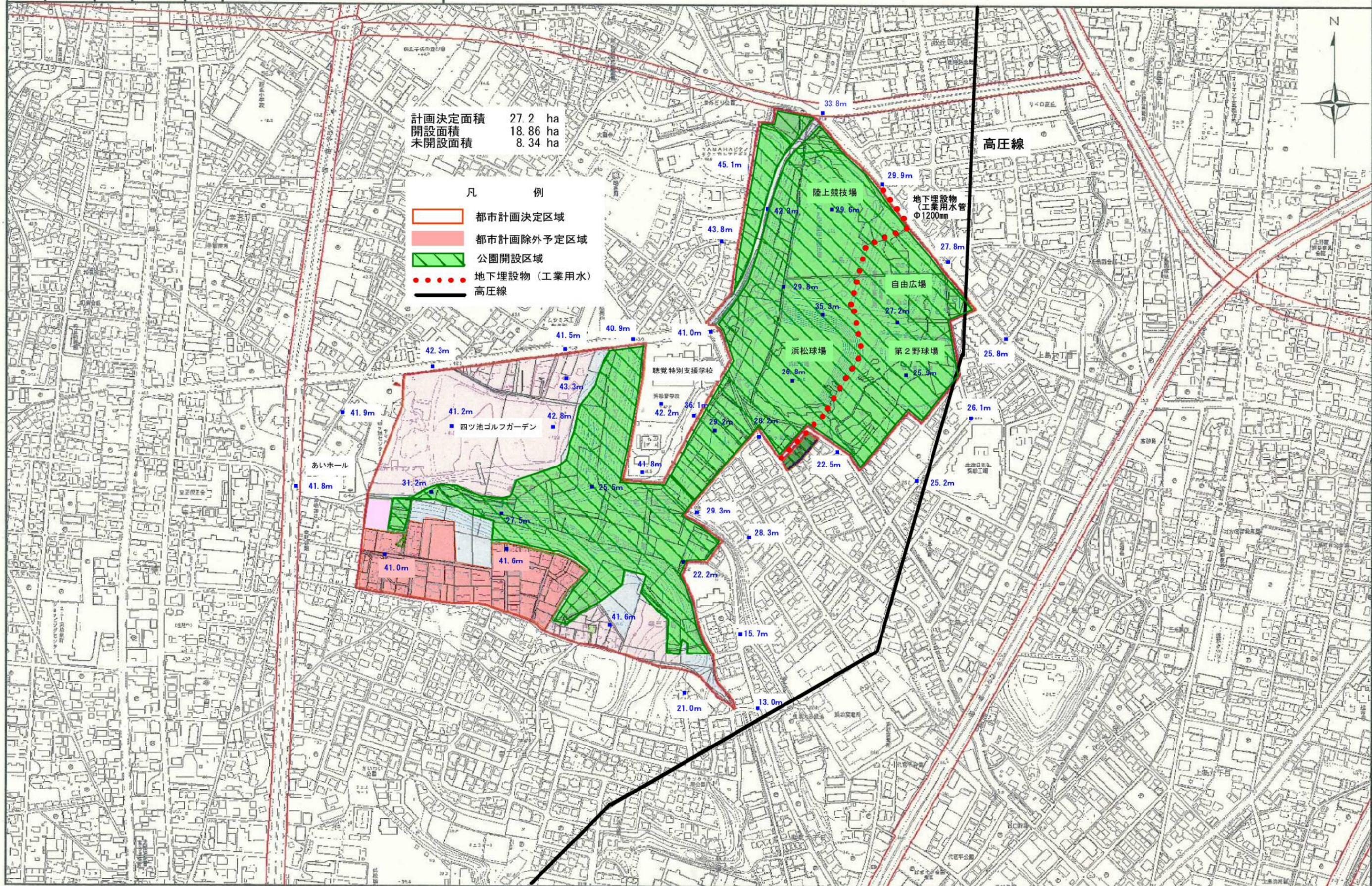
四ツ池公園運動施設について

- 1 四ツ池公園のゾーニングについて … 資料 1、参考資料 1、2
- 2 四ツ池公園陸上競技場について … 資料 2、参考資料 A、B、C

四ツ池公園のゾーニングについて

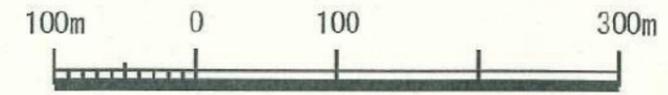
- ・ 四ツ池公園は、三方原台地部と平野部のちょうど境にあり、台地側より染み出る湧水や、雨水等が流れ込む四つの池がある。
- ・ 斜面には樹林地が残っており、多様な動植物の生息・生育地になっている。
- ・ 「浜松市都市計画マスタープラン(2010-2030)」や「浜松市緑の基本計画(2010～2020)」では、市街地に残された貴重な緑地として、みどりの拠点として位置付けられている。
- ・ またこれらの上位計画では、天竜区から浜北区の「山辺の道」を経て浜松城公園まで続く、天竜川河岸段丘の斜面林を主とした「都市のみどりの帯」「都市の緑の軸」の一角に位置付けており、保全と活用を図ることとなっている。
- ・ こうしたことから、四ツ池公園南側の豊かな自然が残る場所を「公園エリア(自然散策ゾーン)」として位置付け保全を図り、北側のスポーツ施設がある場所を「スポーツエリア(運動施設ゾーン)」として位置付ける。
- ・ 1つの公園の中で変化のついた、動と静の憩いの風景が楽しめる公園としていく。





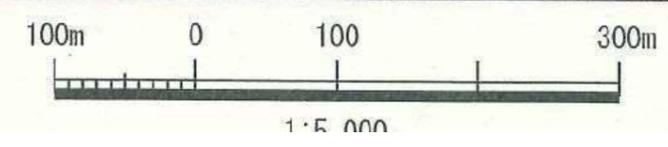
計画決定面積 27.2 ha
 開設面積 18.86 ha
 未開設面積 8.34 ha

- 凡 例
- 都市計画決定区域
 - 都市計画除外予定区域
 - 公園開設区域
 - 地下埋設物 (工業用水)
 - 高圧線





- 凡 例
- 都市計画決定区域
 - 都市計画除外予定区域



四ツ池公園陸上競技場について

前回は、市全域における陸上競技場・野球場の設置状況、利用状況及び四ツ池公園運動施設陸上競技場・浜松球場の位置付けなどを検討し、両施設共に広域施設としての機能が必要だと確認された。

ここからは、陸上競技場、浜松球場それぞれの議論を深めていくこととし、まずは、本市唯一となる陸上競技場について資料を調整する。

1 本市陸上競技場に求められる機能

陸上競技場本来の利用形態、現在の陸上競技場の利用実態、広域施設としての役割などを考慮すると、以下に掲げる機能が求められる。

- ① 公認陸上競技場であり、各種公認競技会などの大会開催が可能なこと。
- ② ハレの舞台である大会会場と練習場がそれぞれ確保できること。練習場も全天候舗装とし、公認競技会を意識した練習を行うことが可能なこと。
- ③ 大会・イベントの主催者や関係者などに係る駐車場が確保されていること。
- ④ 市内だけでなく国内・外から多くの集客が予想されるため、公共交通機関、駐車場などの交通手段が確保されていること。

2 陸上競技場の規模の考え方【参考資料 A、B、C】

- ☞ 現在の陸上競技場は、日本陸上競技連盟の第 2 種公認陸上競技場である。このため、新たな陸上競技場については、現行同様の第 2 種、若しくは広域施設として更なる集客に配慮した第 1 種とする。
- ☞ 補助競技場については、第 1 種では第 3 種公認陸上競技場が必須となる。第 2 種では全天候舗装の設置が望ましいとの記載にとどまるが、第 2 種においても、全天候舗装の補助競技場を設置する。
- ☞ 第 1 種と第 2 種を比較した場合、トラック、跳躍場、投てき場などフィールド内の条件について大きな差はなく、大きな違いは観客収容数、更衣室やウエイトトレーニング室などの諸室などである。つまり、フィールド外側の構造により面積に大きな差が生じることとなる。

本市が求める陸上競技場は、前項①～④の機能、本項 1・2 点目の条件を満たすことが最低限の条件となる。

公認競技場の種類

		第1種	第2種	第3種	第4種
1 周の距離		400m	400m	400m	200m,250m,300m, 400m
距離の公差		+1/10,000 以内	+1/10,000 以内	+1/10,000 以内	各 40 mm以内
走路	直走路	1レーンの幅は 1m220 で 8 レーン又は 9 レーンとする 長さ 115m 以上	1レーンの幅は 1m220 で 8 レーン又は 9 レーンとする 長さ 115m 以上	1レーンの幅は 1m220 で 8 レーンとする 長さ 114m 以上	1レーンの幅は 1m220 で 6 レーン以上とする 長さ 114m 以上
	曲走路	1レーンの幅は 1m220 で 8 レーン又は 9 レーンとする	1レーンの幅は 1m220 で 8 レーン又は 9 レーンとする	1レーンの幅は 1m220 で 6 レーン以上とする	1レーンの幅は 1m220 で 4 レーン以上とする
障害物競走設備		必要	必要	無くても可	無くても可
補助競技場		全天候舗装 400m 第 3 種公認陸上競技場	全天候舗装の競技場があることが望ましい	無くても可	無くても可
各種跳躍場および各種投てき場		仕様・細則に示す数	仕様・細則に示す数	細則に示す数	細則に示す数
ただし、円盤投とハンマー投サークルは兼用してもよい					
収容人員		15,000 人以上 (芝生席を含む)	5,000 人以上 (芝生席を含む)	相当数	相当数
更衣室		300 人以上収容し得ること	100 人以上収容し得ること	利用できる設備があることが望ましい	無くても可
トレーニング室		第 1 種公認競技場ではウエイト・トレーニング場を必要とする			
雨天走路		メインバックスタンド側にあることが必要。舗装材は競技場と同一にする	設備することが望ましい	無くても可	無くても可
トラックとフィールドの舗装材		全天候舗装の施設を要する	全天候舗装の施設を要する	全天候舗装の施設を要する	土質でも可
インフィールド		天然芝・投てき実施可能な人工芝とする	天然芝・投てき実施可能な人工芝とする	天然芝・投てき実施可能な人工芝とする	人工芝でもよい
電気機器等の配管		設備を要する	設備を要する	設備があることが望ましい	無くても可
用器具庫		2 か所以上で、合計 500 m ³ 以上必要	第 2 種～第 4 種ではそれぞれの種別に示す用器具を収納できるようにする		
浴場またはシャワー室		男女各 2 か所以上	男女各 2 か所以上	利用できる設備があることが望ましい	無くても可
競技場の撒排水設備		降雨直後の使用が可能なこと 砂場、芝生等の管理に必要な数	降雨直後の使用が可能なこと 砂場、芝生等の管理に必要な数	降雨直後の使用が可能なこと 砂場、芝生等の管理に必要な数	無くても可
競技場と場外との境界		競技場の荒廃毀損を防止し得る程度の堅牢な境界が必要	競技場の荒廃毀損を防止し得る程度の堅牢な境界が必要	無くても可	無くても可
観覧席とトラックとの境界		観覧席からみだりに競技場内に入りにできないように設備する	観覧席からみだりに競技場内に入りにできないように設備する	無くても可	無くても可
競技場にて開催できる競技会の種別の標準		本連盟が主催する日本陸上競技選手権大会、国民体育大会等の全国規模競技会及び国際的な競技会	加盟団体等が主催する選手権大会及び主要な競技会並びに本連盟が承認し主催する競技会	加盟団体等が主催する競技会	加盟団体等の競技会・記録会

出典：日本陸上競技連盟「公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程」(2019年4月1日改正)

第 2 種公認陸上競技場の基本仕様

「新設第 2 種公認陸上競技場」「既設第 2 種公認陸上競技場」の異なる点のみを抜粋

	新設第 2 種	既設第 2 種
競走路	トラックは 8 レーンまたは 9 レーンとし、1 レーンの幅は 1m220 とする。走路の厚さは 13 mm 以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは 18 mm 以上とする。	トラックは 8 レーンまたは 9 レーンとする。走路の厚さは 13 mm 以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは 18 mm 以上とする。
諸室	スタンドの上層部には放送室、指令室、電光掲示盤があるときは操作室等を設け、同一レベルに隣り合わせて写真判定室ならびに装置を設置する。また、下層部には、情報処理室、コピー室、医務室、ドーピング検査室等、競技会運営上、最も使用しやすい場所に設ける。	スタンドの上層部には放送室、指令室、電光掲示盤があるときは操作室等を設け、同一レベルに隣り合わせて写真判定室ならびに装置を設置する。また、下層部には、情報処理室、コピー室、医務室、ドーピング検査室等、競技会運営上、最も使用しやすい場所に設ける。少なくとも、写真判定室と審判長との間にはインカムを必要とする。

出典：日本陸上競技連盟「第 1 種・第 2 種公認陸上競技場の基本仕様」(2014 年 4 月 1 日修正)

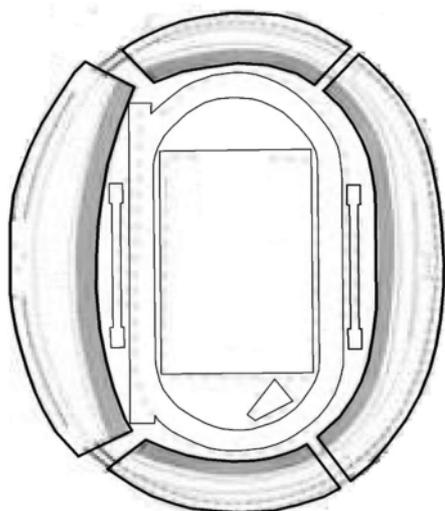
第 1 種公認陸上競技場の基本仕様

「新設第 1 種公認陸上競技場(陸上競技専用)」「新設第 1 種公認陸上競技場(多目的)」「既設第 1 種公認陸上競技場」の異なる点のみを抜粋

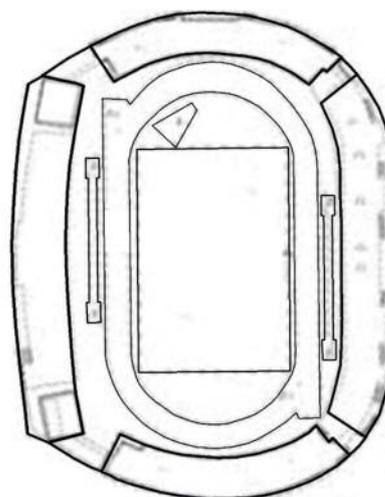
	新設第 1 種(陸上)	新設第 1 種(多目的)	既設第 1 種
競走路	トラックは 8 レーンまたは 9 レーンとし、1 レーンの幅は 1m220 とする。走路の厚さは 13 mm 以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは 18 mm 以上とする。	トラックは 8 レーンまたは 9 レーンとし、1 レーンの幅は 1m220 とする。走路の厚さは 13 mm 以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは 18 mm 以上とする。トラックは直走路 82m~84m500 を推奨する。	トラックは 8 レーンまたは 9 レーンとする。走路の厚さは 13 mm 以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは 18 mm 以上とする。
記者席	大規模競技会では、記者席はフィニッシュライン上方の観覧席に設置し、電話、モニター等の設置が可能な施設とする。	多目的競技場としての記者席、観覧席、ドーピング検査室等が定められるが、大規模競技会の運営上からは、記者席はフィニッシュライン上方に仮設でもよいが設置し、電話、モニター等の設置が可能な施設とする。	記者席は仮設でもよいが、フィニッシュライン上方の観覧席に設置し、電話、モニター等の設置が可能な施設とする。

出典：日本陸上競技連盟「第 1 種・第 2 種公認陸上競技場の基本仕様」(2014 年 4 月 1 日修正)

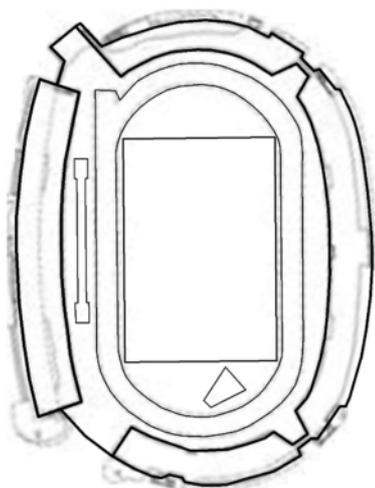
陸上競技場のイメージ図



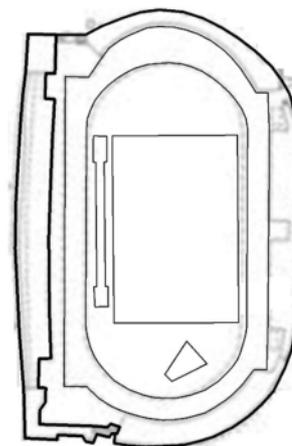
①岐阜メモリアルセンター 長良川競技場
 ≪第1種 (多目的)≫ 収容人員 26,109 人



②相模原ギオンスタジアム
 ≪第2種 (多目的)≫ 収容人員 15,300 人



③愛鷹広域公園 多目的競技場
 ≪第2種 (多目的)≫ 収容人員 10,000 人



④四ツ池公園 陸上競技場
 ≪第2種 (陸上専用)≫ 収容人員 10,000 人